

## 2007年度事業計画

### 1. 基本方針

近年の日本経済の発展を牽引している自動車、情報家電、携帯電話等の機能や性能は、搭載されるソフトウェア(組込みソフトウェア)の品質・性能に大きく依存し始めており、今後その開発需要と重要性はますます拡大すると予測される。

しかしながら、わが国の技術者不足や昨今の開発規模の巨大化・複雑化も相俟って、組込みソフトウェアに起因するトラブルが急増するなど、企業経営への影響も顕在化しつつある。さらに、中国やインドなどアジアの国々でのオフショア開発が進んでおり、日本のソフトウェア技術力の低下や産業の空洞化が懸念される。

今後、わが国が持続的な経済発展を遂げるためには、ソフトウェア産業の国際競争力強化が喫緊の課題であるが、幸い、関西には、優秀な大学、情報家電メーカー、情報系中小企業や専門学校が集積しており、ソフトウェア産業への高いポテンシャルがある。またソフトウェア開発のグローバル化が進む中、アジアとの交流が深い関西は大きなアドバンテージを有している。

そこで、これらの強みを最大限に活かし、産学官が連携して、ここ関西を組込みソフト産業の一大集積地とすべく「組込みソフト産業推進会議」を設立し、活動を行うことで、関西地域の経済活性化は勿論のこと、日本の産業競争力強化に貢献していく。

### 2. 活動内容

#### (1) 推進事業

##### ① 先進的組込みソフト産学連携プログラム検討部会

大阪大学を中心に 9 大学院、4 民間企業で取り組んでいる「IT Spiral」(文部科学省公募事業)と連携し、高度組込みソフト技術者を育成するための仕組みづくりを行う。

##### ② STC (Software Training Center) 検討部会

JASA (組込みシステム技術協会) や専門学校・大学等の連携により、ETSS (Embedded Technology Skill Standards : 組込みスキル標準) に準拠したカリキュラム・教材を作成し、初級・中級レベルの組込みソフト技術者の育成を目的とした講座の新規開設を行う。

##### ③ アジア開発リソース検討部会

大学と産業界によりコンソーシアムを形成し、経済産業省「アジア人財資金構想」や大阪府「留学生インターンシップ事業」などへの参加により、アジアの留学生誘致等に取り組む。

(2) 調査研究事業

① 組込みソフト開発機構検討部会

関西オリジナルの先進的な組込みソフトの研究・開発の実践を行うことで、高度な組込み技術者の輩出やベンチャー企業の創出を目指したフィージビリティスタディを行う。

② 資格認定評価制度検討部会

組込みソフトの需要を創出するため、メーカーが安心して発注できる仕組みづくりとして、組込みソフト会社・技術者の資格認定評価制度の確立を目指したフィージビリティスタディを行う。

(3) 組込みソフト啓発事業

① セミナー、研修の開催

IPA（情報処理推進機構）/SEC（ソフトウェア・エンジニアリング・センター）、JASAなどの関係機関と連携して、セミナーや研修会を開催することで、組込みソフト分野の関係機関・団体との交流を図り、普及啓発活動を行う。

② 広報活動

組込みソフト産業推進会議の活動状況などをホームページで公開し、普及啓発活動を行う。

以上